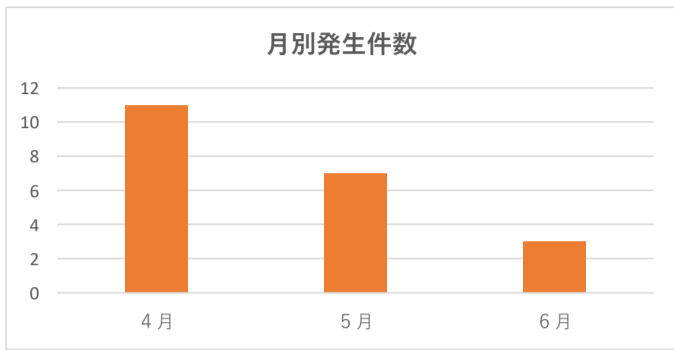


令和7年度介護サービス事業者等における事故報告書（集計）について【4月～6月】

・月別発生件数

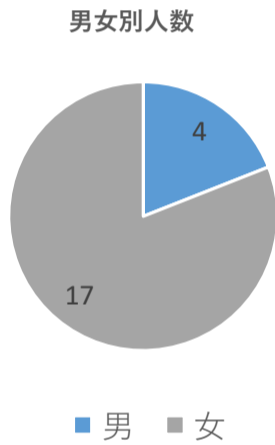
月	4月	5月	6月	合計
件数	11	7	3	21



・令和7年4月から6月までの3ヶ月間で市へ報告のあった事故報告書は**21件**となっています。

・男女別人数

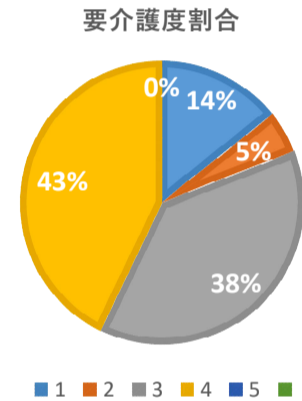
性別	男	女
人数	4	17



・男女別では、**女性の利用者が大半（76%）**を占めています。

・要介護度

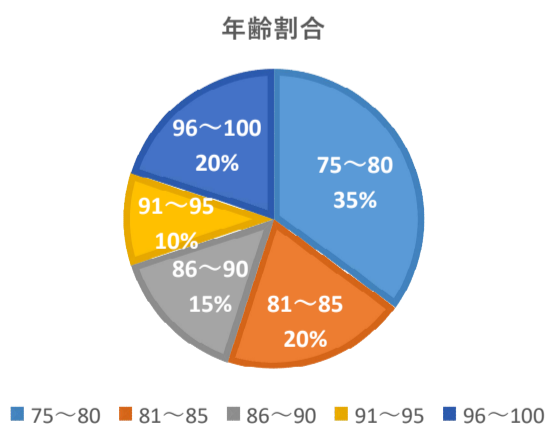
介護度	1	2	3	4	5
人数	3	1	8	9	0



・要介護度別では、要介護4が最も多くなっています。
要介護3と要介護4が大半（81%）を占めています。

・年齢割合

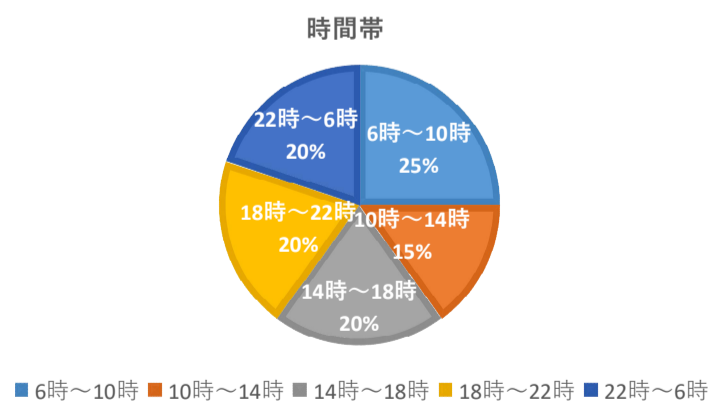
年齢	75～80	81～85	86～90	91～95	96～100
人数	7	4	3	2	4



・年齢別では、**75から85歳までの利用者が半数以上（60%）**を占めています。

・発生時間

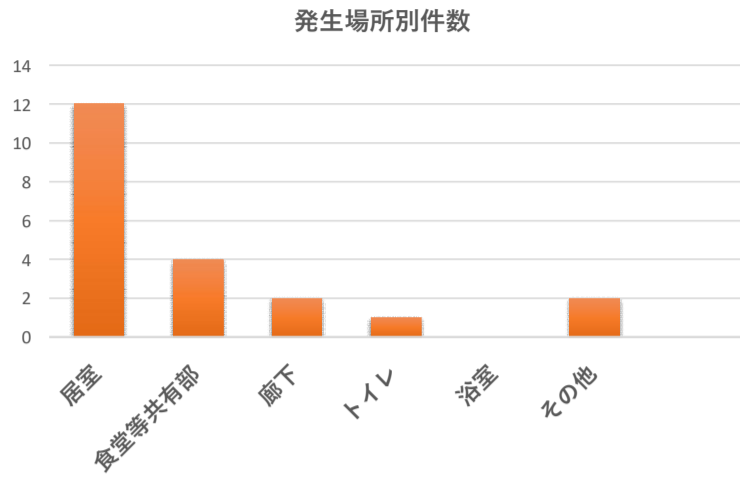
時間帯	6時～10時	10時～14時	14時～18時	18時～22時	22時～6時
件数	5	3	4	4	4



・事故発生の時間帯は、**6～10時（25%）**が最も多くなっています。居室から食堂共有部へ異動する際に転倒する事例が多く発生しています。

・発生場所

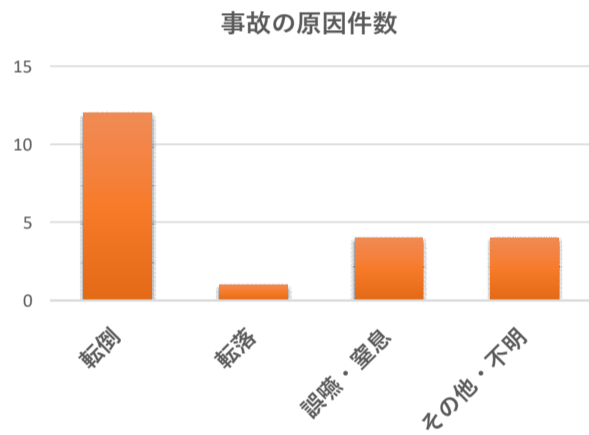
発生場所	居室	食堂等共有部	廊下	トイレ	浴室	その他
件数	12	4	2	1	0	2



・事故の主な発生場所は、**居室が半数（57%）**を占めています。職員の目の届きにくい居室内で、利用者が自ら行動をしようとして事故につながっています。

・事故の原因

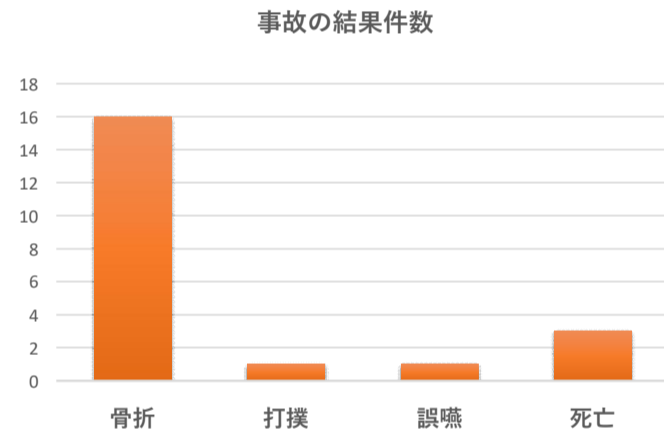
原因	転倒	転落	誤嚥・窒息	その他・不明
件数	12	1	4	4



・事故発生の原因は、**転倒が半数以上（57%）**を占めています。主な事例として、「ベッド柵につかまって立とうとして転倒」、「着替えようとした際、バランスを崩して転倒」、「車椅子に乗っている際、下がろうとしてバランスを崩して転倒」となっています。

・事故の結果

結果	骨折	打撲	誤嚥	死亡
件数	16	1	1	3



・事故の結果は、**転倒による骨折が大半（76%）**を占めています。利用者の転倒は、骨折のリスクが高くなるとわかります。死亡の内容としては、「食後の誤嚥・窒息」「液体洗剤の誤飲による誤嚥性肺炎」「嘔吐による窒息」となっています。